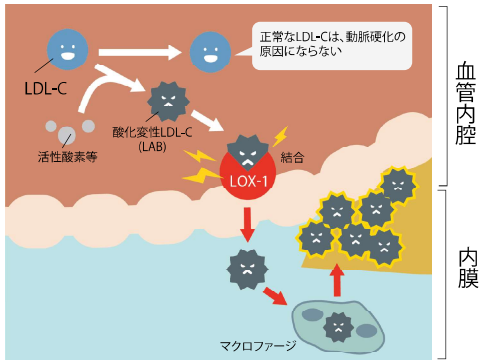


気になる!生活習慣チェックリスト

～脳梗塞・心筋梗塞は生活習慣で予防できます～

動脈硬化の原因を知ろう!

原因は、LDLコレステロール(悪玉)ですが、中でもサビ付いた酸化変性LDLコレステロール(LAB)が「最大の悪玉」です。
この酸化変性LDLが、血管にあるLOX-1に捕まると、血管に炎症が生じます。これが、動脈硬化のはじまりです。



※LOX-index®は、酸化変性LDL(LAB)とLOX-1を掛け算した値です。

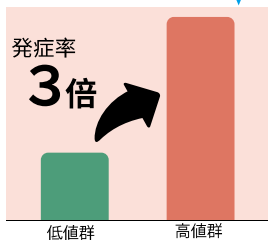
LOX-index®を検査することで、 将来の発症リスクを知る!

この検査方法は、日本人約2,500名を平均約11年間追跡調査した結果が得られたデータをもとに実施されます。

■LOX-index®と疾患リスク

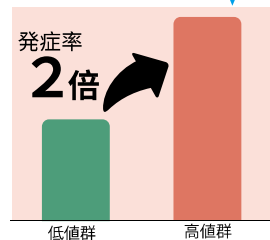
〈脳梗塞発症との関係〉

LOX-index®の値が高いと
発症率が3倍



〈心筋梗塞発症との関係〉

LOX-index®の値が高いと
発症率が2倍



引用: Clinical Chemistry 2010; v.56, p.550-558.

	質問	チェック欄
Q1	ストレスで体調を崩しやすい。	
Q2	肥満(肥満ぎみ)である。 ※BMI=体重kg÷(身長m×身長m)が25以上	
Q3	脂っこい食事や塩辛い食べ物が好きだ。	
Q4	野菜、海藻類をあまり食べない。	
Q5	定期的に(週2回以上)運動をしていない。	
Q6	タバコを毎日吸う。もしくは吸っていた。	
Q7	週に5日以上お酒を飲む。	
Q8	高血圧、糖尿病、高脂血症の持病がある。	
Q9	40才以上である。	

上記の質問で**4項目**以上当てはまる方は、
LOX-index®を受診して、血管の状態を確認してみましょう!

「脳梗塞・心筋梗塞は“予防”できます」

検査の受診は下記まで

- 株式会社プリメディカ <HP><http://www.premedica.co.jp/>
- 記載した内容は予告なく変更する場合がございます。
- LOX-index®は株式会社プリメディカおよび国立循環器病研究センターの共同所有登録商標です。

(2021年4月現在)

脳梗塞・心筋梗塞の 発症リスクを チェック!

LOX-index®
(ロックス-インデックス)



「治す」から「防ぐ」医療へ

PreMedica

株式会社プリメディカ

将来の脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを予測する唯一の血液検査です。

ガンより怖い？ 動脈硬化!!

日本人の死因の1位はガンですが、動脈硬化が原因とされる脳血管疾患、心疾患の合計数は同水準にあります。

疾患名	死亡数
1位 悪性新生物(ガン)	約36万人
2位 心疾患	約20万人
4位 脳血管疾患	約12万人

32万人 (総死亡数の1/4)

*厚生労働省 平成25年人口動態統計 (3位は「肺炎」)

患者数は圧倒的に多い!

脳血管疾患、心疾患は、医療の進歩で命を取り留める確率は高くなっていますが、患者数自体は増加の一途を辿っています。

疾患名	患者数
悪性新生物(ガン)	約152万人
心疾患(高血圧除く)	約161万人
脳血管疾患	約123万人

284万人

*総患者数/厚生労働省 平成23年患者調査

治療には、お金がかかる!

手術を行った場合、一般的に約30日の入院が必要になります。

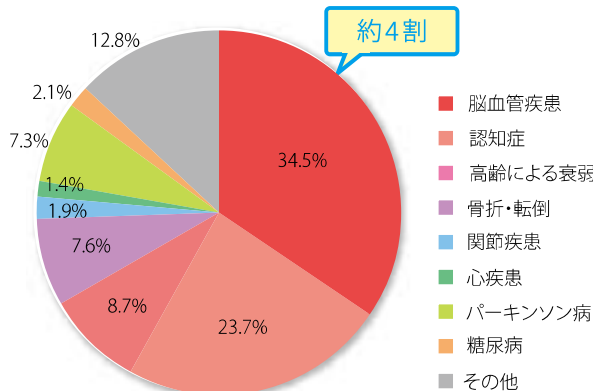
疾患名	総額	自己負担額
脳梗塞	約140万円	約42万円
心筋梗塞	約120万円	約36万円

*手術、約30日の入院で試算/全日本病院協会のホームページを参考

寝たきりの原因は、脳梗塞が最多!

寝たきりになる原因のトップは脳梗塞になります。脳血管疾患が、約4割を占めています。

■寝たきりの原因



厚生労働省 平成25年度国民生活基礎調査

検査の詳細はこちらからご確認ください



血液検査で簡単にわかる!

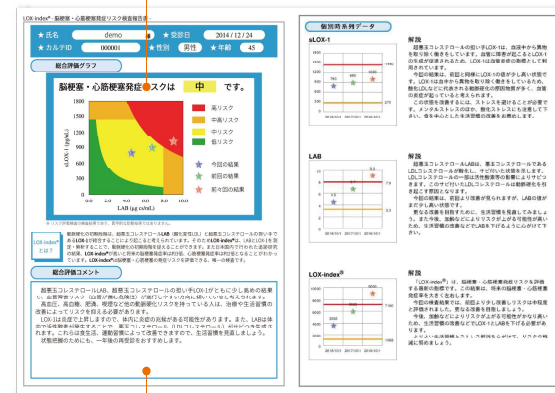
血液検査で調べることが可能です。検査自体も約10分で完了します。

脳梗塞・心筋梗塞リスクチェック 検査の流れ

- 1 受診予約の実施
検査の予約をします。
- 2 採血(10分程度)
採血による検査を行います。
- 3 検査データ解析
専門の検査機関で、あなたの発症リスクを判定します。
- 4 結果報告書の提供
2~3週間後、受診した医療機関から、検査結果報告書が提供されます。結果をもとに、食生活や運動などの生活習慣改善を心がけましょう。

LOX-index[®]検査結果説明レポート

発症リスクのレベルを分かりやすいグラフで記載。



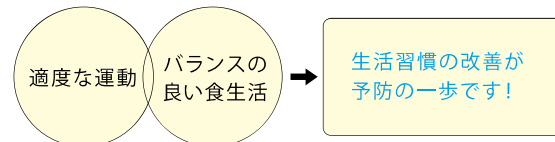
検査結果に対する総合的なコメントや改善の方向性を提案。

過去の検査結果からの推移も一覧できる解説付き。

今からでも遅くない! 改善が可能です!!

結果が悪いからといって、落ち込む必要はありません。動脈硬化の原因はさびついたLDLコレステロール(LAB)であるため、サビ付きを抑制することで、予防が可能と言えます。

■サビ付きを防ぐ基本的な取組例



サビ付きを抑える具体的な方法に関しては、検査結果をもとに指導があります。自分自身でできることから実施し、続けることが重要です。

受診をご希望の方は、スタッフにお申し付けください。